

(3) インターバルなしの設定による撮影状況

令和5年度より、インターバル間における動物の撮り逃しを避けるため、8月8日のメンテナンス以降はカメラのインターバル設定をなし(=0秒)とした。期間中、SDカードの容量不足や電池切れはなかった。

業務期間中の哺乳類の全撮影個体数は不明種を含めて6,378個体であり、正確な種まで同定できた確認種数は16種であった(表8)。ただし、業務期間に4月20日から8月7日までを含んでいるため、その期間は30分インターバルによる結果である。30分インターバル想定との比較では、撮影個体数は約1.5倍となったが、確認種に差は無かった。撮影個体数の上位5種は、キツネ、ニホンザル、タヌキ、ツキノワグマ、カモシカであり、30分インターバルと同じであった。

インターバルなしでは撮影されていたが、30分インターバルを想定した場合に除かれたデータが存在する地点を表8中に黄色セルで示した。30分インターバルでは、キツネが16地点、ニホンザル及びタヌキが15地点、ツキノワグマが14地点、カモシカが7地点、アナグマ及びニホンジカが6地点、ニホンノウサギが2地点、テン、イタチ、イノシシ及びニホンリスが1地点で除かれるデータがあった。

図13に地点別補正個体数を示す。補正個体数が最も多かったのは、ツキノワグマは調査地点1、ニホンノウサギは調査地点3であり、これらは30分インターバルとは異なった。また、インターバルなしではイノシシが地点12でわずかに多くみられたが、30分インターバルでは差が認められない。これは、ツキノワグマ及びイノシシなどが設置したカメラの前に滞在していた可能性が考えられる。キツネについても30分インターバルでは地点6が最多だったものの、インターバルなし設定では地点1がわずかに上回る結果となった。地点6ではインターバルの影響がわずかだったのに対し、地点1では補正個体数が大きく増加していることから、地点1の獣道を短時間で頻繁に往復していたために撮影個体数が増加したと考えられる。

図14に月別補正個体数を示す。総補正個体数は4月から6月にかけて増加し、7月に一旦減少した後、8月から上昇を再開して9月に最も多くなった後、11月まで減少した。増減の傾向自体は30分インターバル時と同様だったが、インターバルなしの設定を採用した8月以降の撮影個体数は7月以前の個体数を上回った。種別にみると、ニホンザル、タヌキ、ツキノワグマ及びニホンジカなどが8月から10月にかけて多く確認されており、このことが総補正個体数に大きく影響している。一方でキツネ、アナグマ及びイタチはインターバルの有無による影響が少なかった。

図15に時間別補正個体数を示す。撮影時間の傾向については、30分インターバルとインターバルなしで大きな差はなかった。

表 8 センサーカメラ（インターバルなし¹⁾）による各調査地点の確認種・個体数²⁾

種名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計
ニホンザル <i>Macaca fuscata</i>	263		30	262	201	107	24		2	34		186	1	397	1		91		21		33	2	12	1		40		14	1722
キツネ <i>Vulpes vulpes</i>	444	2	8	125	145	443	9		7		72	78	31	46		55	121	1	5	8	20		54		14	77		25	1790
ヌキ <i>Nyctereutes procyonoides</i>	99	33	5	30	51	220	17		1		43	91	26	94		16	12		1	1	8	4	10		38	63		83	946
イヌ <i>Canis familiaris</i>				2																									2
ツキノグマ <i>Ursus thibetanus</i>	242	8	15	4	95	48	26		6	4	3	39	12	23	2	22	123	2	23	3	4	1	3	2	11	42		18	781
テン <i>Martes melampus</i>	12		2	15		10	3					5	2	11		4	1		1	1	9	1			1	3		3	84
イタチ <i>Mustela itatsi</i>	1	1										2				1	1				2				1				9
アゲグマ <i>Meles anakuma</i>	8	1	3	1		52	6		1		11	13		13		4	3		1	6	2		6	2	12	19		12	176
ハクビシン <i>Paguma larvata</i>	41	1	3	27		12	5		2		4	1		2					3		6		2			24		4	137
イヌコ <i>Felis catus</i>	1			1																	20	22		11					55
アライグマ <i>Procyon lotor</i>											1																		1
イノシシ <i>Sus scrofa</i>						1	1		1			4																	7
ニホンカ <i>Cervus nippon</i>	8	3	9	1	1	23			3	1	2	2			4	1	17				1		1	1	3	11			92
カモシカ <i>Capricornis crispus</i>	10		15	8	16	8	21	3	20		10	6		17	3		62		2						10	45	2	30	288
ニホンリス <i>Sciurus lis</i>	1	19		1																									21
ニホンウサギ <i>Lepus brachyurus</i>		1	24		6							3		20			4		4	3	1		4	3	2	5		2	82
不明ネズミ類												1								12	1		18	4					36
不明コウモリ類																			1										1
不明哺乳類	21	1	5	5	9	2	6		7	1	3	2	3	17	4	5	20		2	1	4	1		2	4	18		5	148
哺乳類個体数合計	1151	70	119	482	524	926	118	3	50	40	149	433	75	640	14	108	455	3	64	55	113	9	121	15	96	347	2	196	6378
哺乳類補正個体数 ²⁾ 合計	53.29	3.24	5.51	22.31	24.26	42.87	5.44	0.14	2.33	1.86	6.93	20.05	3.68	31.37	0.65	5.74	24.20	0.16	3.40	3.02	6.21	0.48	6.40	0.82	5.27	17.01	0.10	9.25	305.99
哺乳類種数合計 ³⁾	12	9	10	12	7	10	9	1	9	3	8	12	5	9	4	7	10	2	9	7	11	4	9	5	9	10	1	9	213
ヤマトリ <i>Syrnaticus soemmringii scintillans</i>	3	1			2	6		2			4	3		5			3			5	5	5	42	6	2	6		1	101
キンバト <i>Streptopelia orientalis orientalis</i>				58		1					3	1		1		1			1				14						81
アサギ <i>Ardea cinerea jouyi</i>				4			1																						5
ヤマシキ <i>Scolopax rusticola</i>																				1									1
アカゲラ <i>Dendrocopos major</i>																				1									1
ハクシ <i>Garrulus glandarius japonicus</i>		1		2			1							3									2						9
バンブトカラス <i>Corvus macrorhynchos</i>																							5						5
ヤマガラ <i>Poecile varius varius</i>																								1					1
トラツグミ <i>Zoothera dauma aurea</i>				3																									3
不明鳥類			1	2		1						1								1						1			7
全個体数合計	1154	72	120	551	526	934	120	5	50	40	156	438	75	649	14	109	458	4	64	64	118	14	184	22	99	353	2	197	6592
全種数合計 ³⁾	13	11	10	16	8	12	11	2	9	3	10	14	5	12	4	8	11	3	9	11	12	5	13	7	10	11	1	10	251

1) 4月～8月は30分インターバルによる撮影 2) 連写の場合は、一連の撮影で写った最大個体数 3) 延べ撮影頭数/CN×10、詳細は本文参照 4) 不明種は種数に含めていない

注1) 黄色セルは30分インターバル解析で脱落しているデータ

※調査期間：令和5年5月～11月

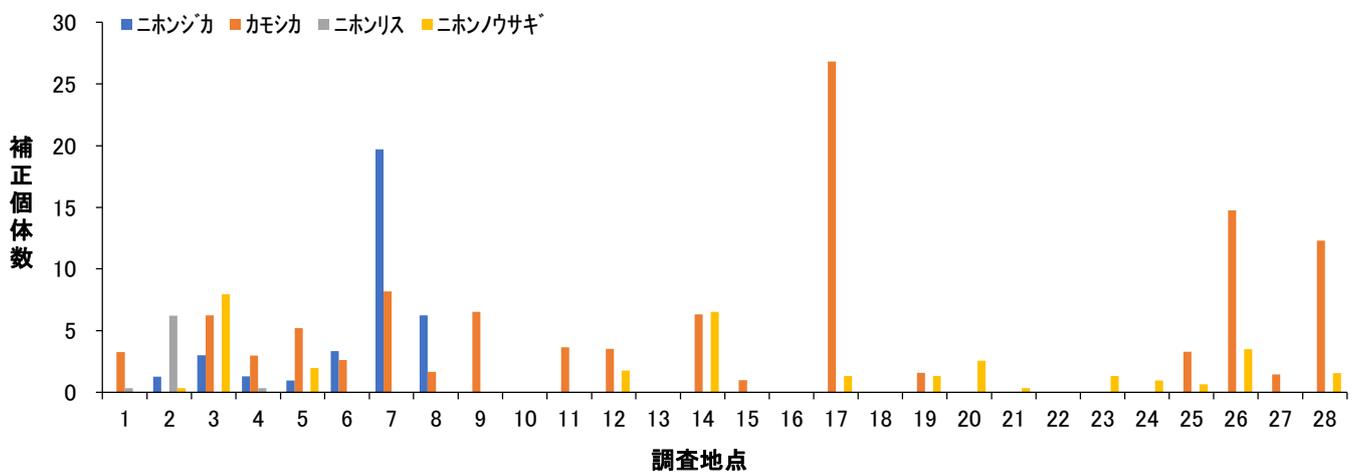
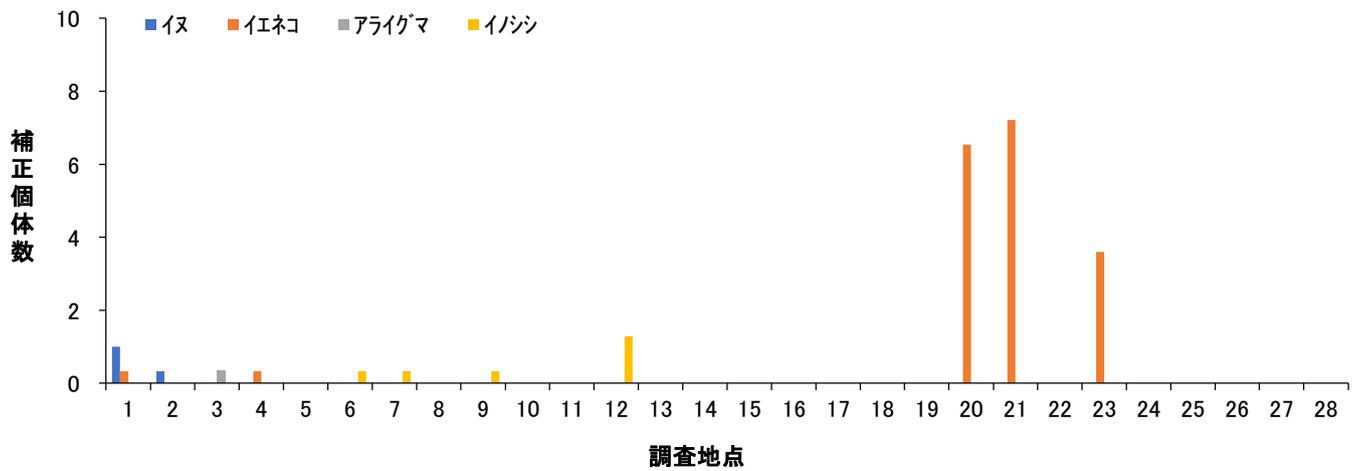
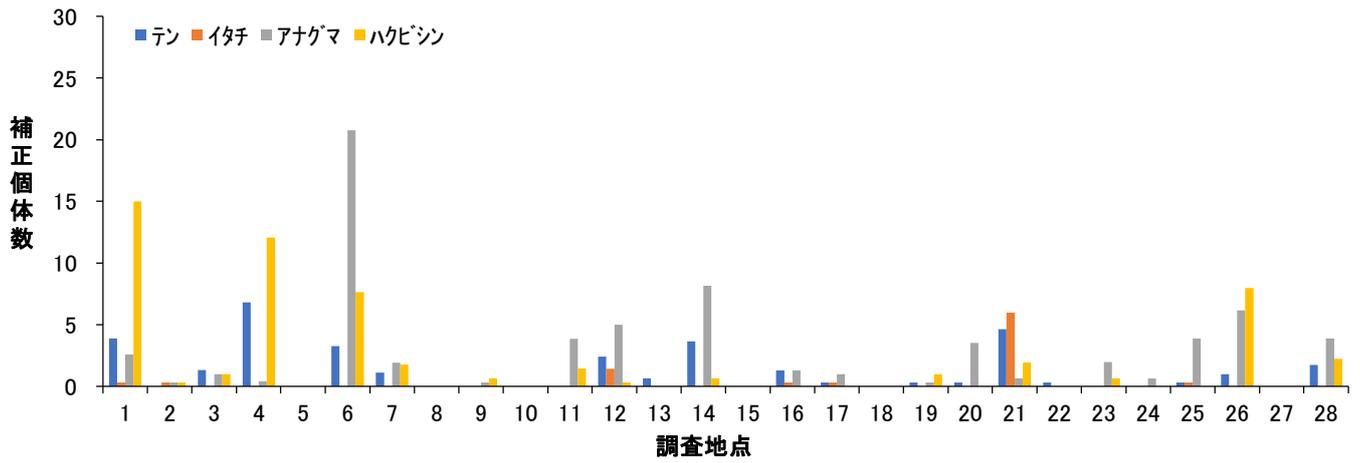
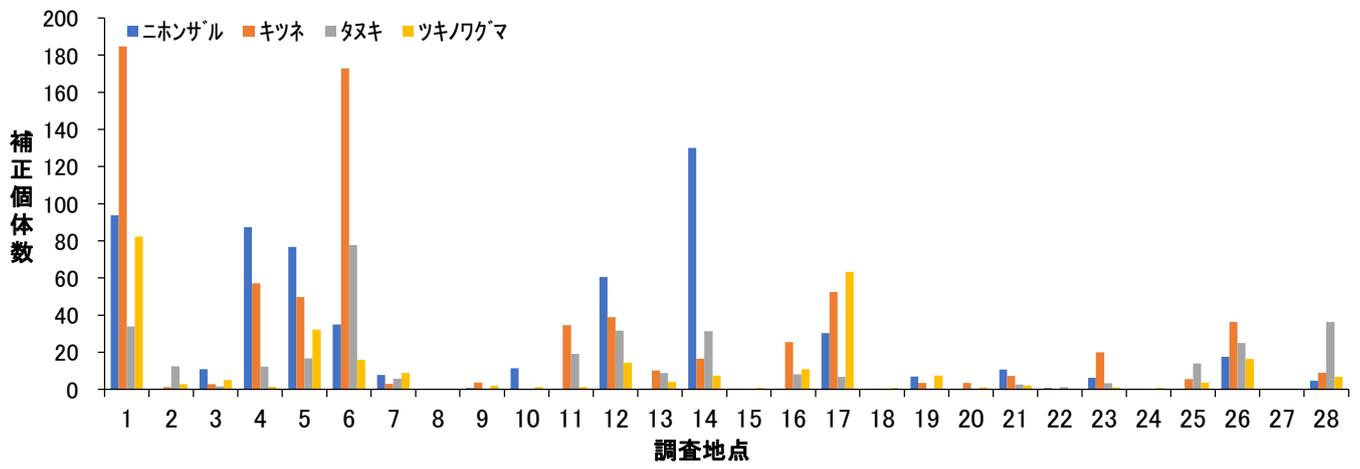


図 13 哺乳類の調査地点別補正個体数（インターバルなし）

※調査期間：令和 5 年 5 月～11 月（4～8 月は 30 分インターバル）

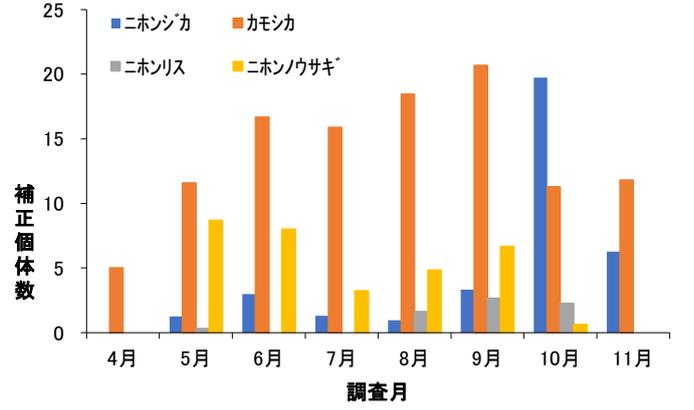
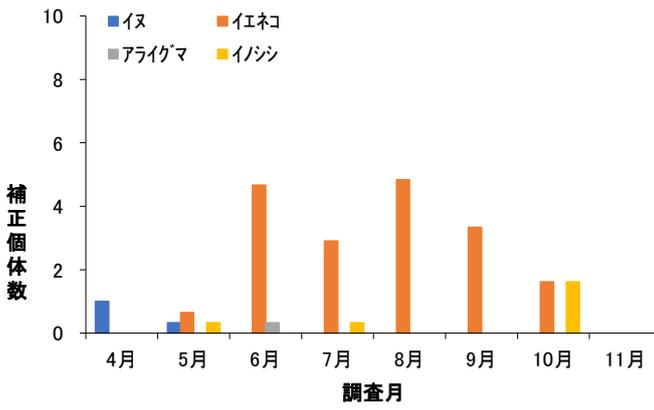
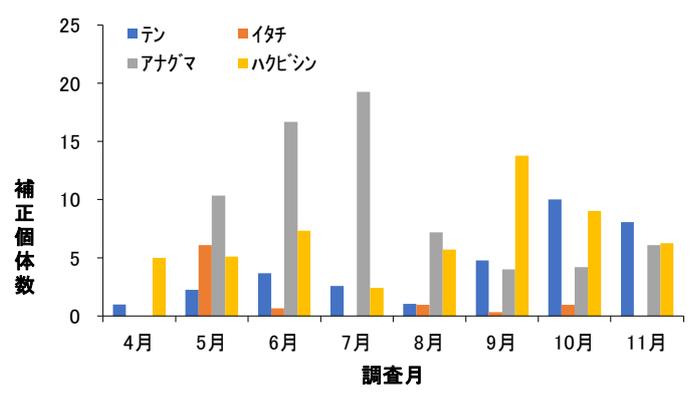
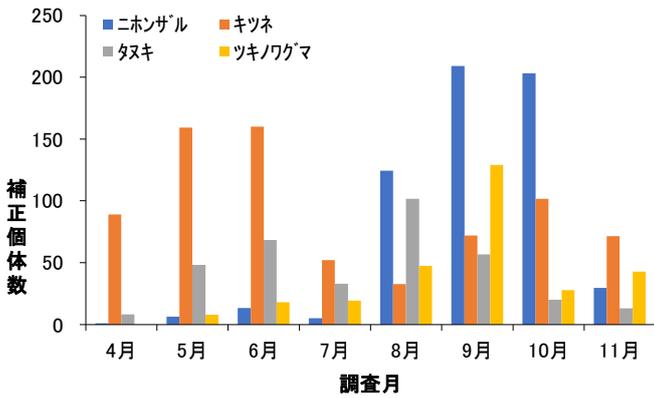
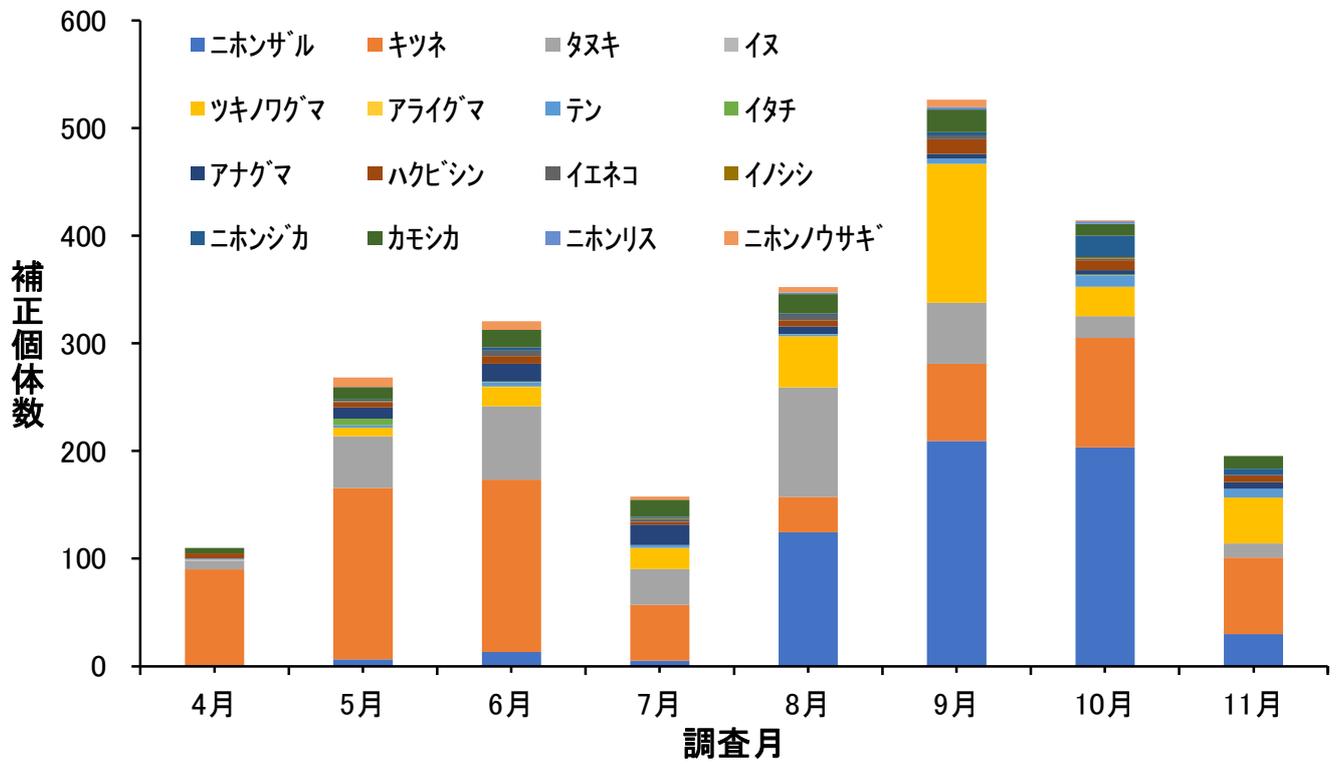


図 14 哺乳類の月別補正個体数（インターバルなし）

※調査期間：令和 5 年 5 月～11 月（4～8 月は 30 分インターバル）

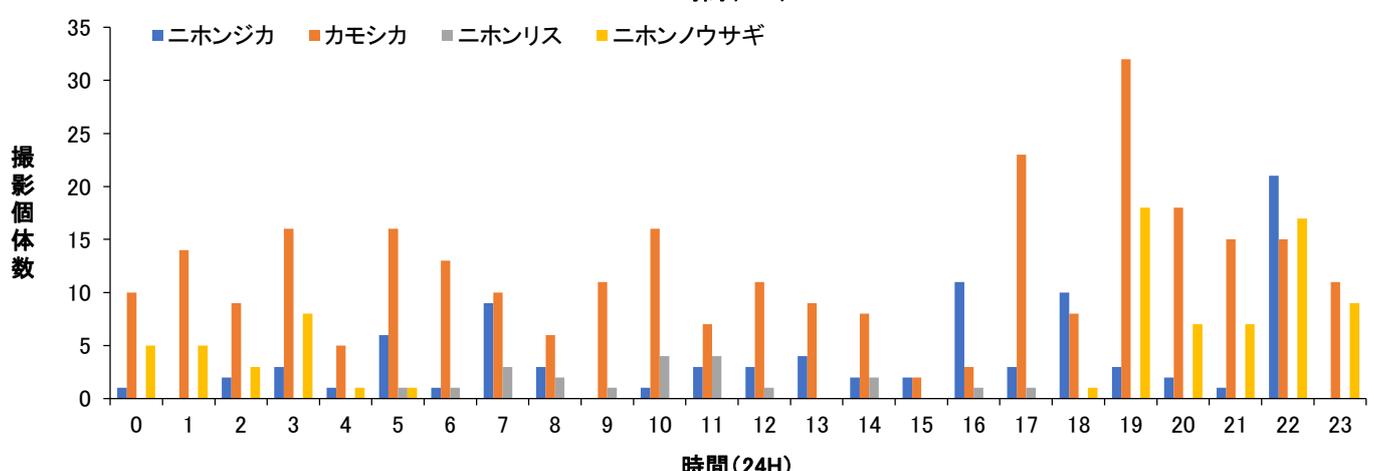
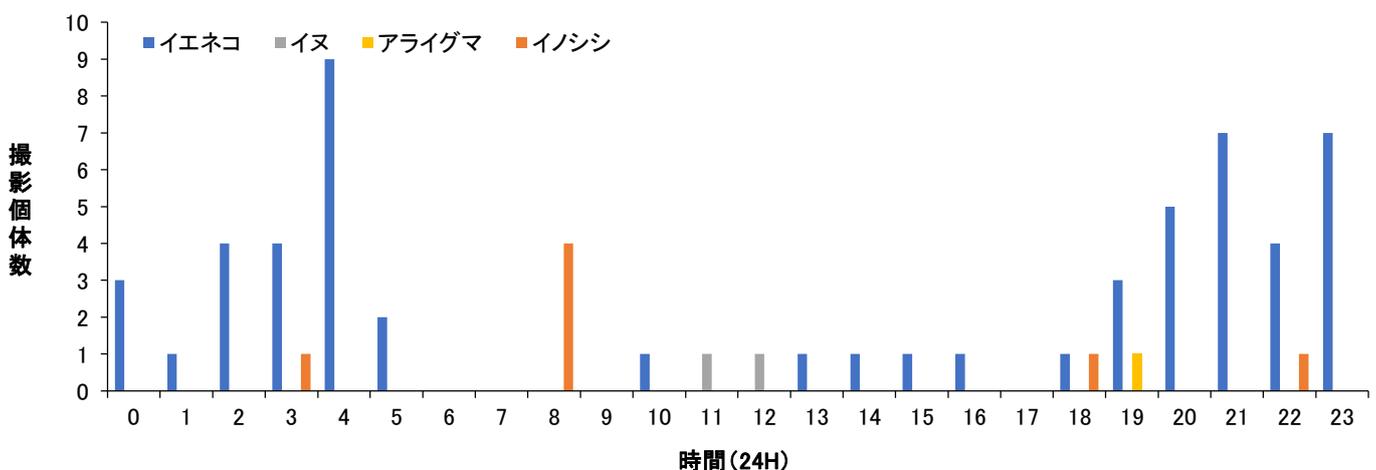
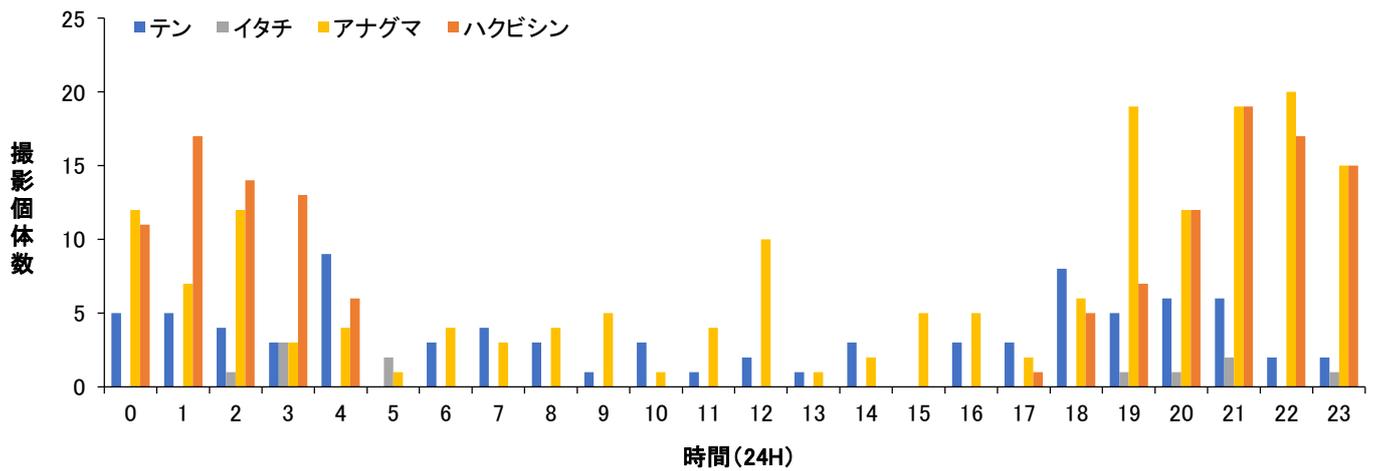
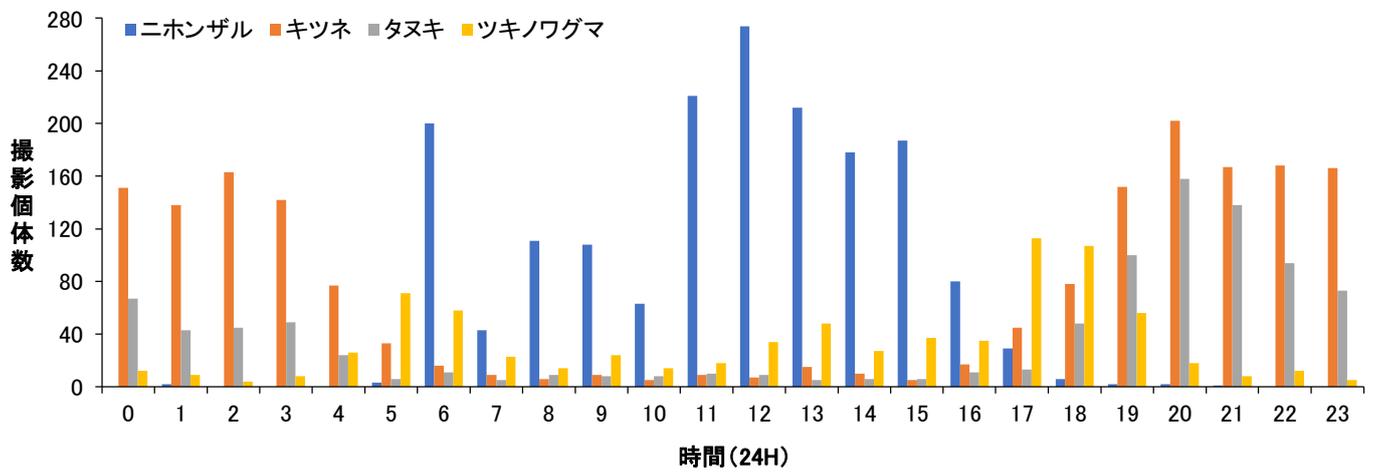


図 15 哺乳類の時間別撮影個体数 (インターバルなし)
 ※調査期間：令和 5 年 5 月～11 月 (4～8 月は 30 分インターバル)